

# ①防災科学技術教育関連教材等の作成

主担当 神戸学院大学

申請書より

「防災教育開発機構」により、地震を中心に水害等の他の事例も含めた自然災害に関する全国の防災教育教材について、既に同機構が所有しているものや同機構の有するネットワークにより他地域から新たに収集するものについて、情報整理・分類を行う。その成果をもとに、防災科学技術も活用して新たな教材等を試行的に開発する。具体的には、問題を解くワークシート形式教材、イラストが豊富なカード形式教材、GIS ソフトを活用した教材等を試行的に開発する。GIS ソフト活用教材等の検討にあたり、補助者を用いる。

## ■課題

### ①「防災教育開発機構」による独自の整理・分類

事業④（主担当 舞子高校）とも関連。共同で中心になり、情報収集、整理、分類について検討したい。情報収集に関しては全機関の協力を願いたい。整理・分類の方向性の検討についても助言をいただけないか。

#### 情報整理・分類の方向性について

##### 既存のもの

防災教育チャレンジプラン・・・レベル、対象、方式、実施主体、場所、時間数など  
夢みる防災教育・・・・・・・・アプローチ（つまり方式）

もっと内容そのものを分類するような切り口を持ってきてもいいのではないかな？

（気づき、つながり、知る、問いかける、考える、体験・・・）

### ②防災科学技術等に関する知見を導入した教材

関係機関における協力を得て、科学技術等の知見を導入した新たな防災教育の教材開発を行う。その際に、人と防災未来センター、気象庁神戸海洋気象台、神戸市消防局からの助言を頂く。すでに人と防災未来センターは舞子高校との共同で、3次元ハザードマップの作成（高校生等が野外での学習成果を基に無料 GIS を用いた地域解析を行い、3次元ハザードマップをインターネット配信するまでの教材等の開発に向け、舞子高校と相談中。）を進めていただいている。これに加え、気象庁神戸海洋気象台、神戸市消防局（災害救助や防災活動等の資料、映像を活用し、シミュレーション等の手法など）の協力を得て、神戸学院大学生との共同で新たな教材開発を行いたい。

例：気象台・神戸市消防局（知識・情報提供）⇒神戸学院大学生（教材作成）⇒気象台・神戸市消防局（監修）⇒神戸市モデル9小学校での実践